

活動名：第24回ウインターカップフットサル in 川俣U12

日程：令和6年1月11日（土）・12日（日）

会場：川俣町体育館

参加：6年生 9名

帯同：熊坂コーチ

サポート：貝和コーチ

結果：VS 清水SSS 5：3

VSHOKUBU FC 4：1

VSFIVE ARROWS 2：2（PK4-5）

※2位トーナメントへ

2位トーナメント

VSFC原一 2：5

VS北村山ユナイテッド 0：2

最終結果 8位／24チーム

報告（熊坂）

テーマ

1対1の攻守において責任を持って対応すること。

球際で厳しく戦うこと。

積極的にゴールを狙いにいくこと。

スペースを使って攻撃すること。

チーム一丸となって最後まで諦めずに全力でやりきること

良かったところ

年明けすぐの大会ということもあり初戦は感覚が鈍いところがありましたが、試合を重ねていくことで良くなっていきました。

2日目は結果こそ2敗でしたが、前半後半でメンバーが入れ替わる難しい状況の中で根気強く戦ってくれましたし、内容は決して悪いものではありませんでした。

選手一人一人が自分の特長を生かしたプレーを見せてくれました。

ドリブルの得意な選手は積極的に仕掛け、キック力に自信のある選手はシュートコースが空いたら果敢にゴールを狙い、落ち着きのある選手はゴール前で相手DFとGKを翻弄したり、パスが得意な選手は場面を変えたり、ゴール前で決定的なパスを出していました。自分の得意なプレーが大会で通用したことは大きな自信に繋がったのではないのでしょうか。

守備の面ではカバーリングが意識が高くとても良かったです。

1対1で交わされた後にすぐ次の選手がカバーに動いてくれていました。

また、時には前線の選手も自陣ゴール前まで戻りカバーしてピンチを防いでくれました。

ベンチでの声が段々大きくなっていき、最終戦では一体感を強く感じる事が出来ました。一人一人がチームの勝利の為に出来ることを考えて取り組んでくれたのだと思います。ベンチからの声がピッチ内の選手に大きな力を与えてくれました。6年生は残す大会も少ないですが、この一体感を持って次の大会も頑張りたいと思います。

結果は選手達も悔しい気持ちで一杯だと思いますが、強豪チーム相手にも戦えた自信にも繋がった大会だったのではないかと思います。私自身は選手達の成長に手応えを感じさせてもらいました。

この貴重な経験を生かして次の大会では更に良いプレーを見せてくれることを期待しています。結果にも反映出来るように頑張っていきましょう！

課題

運動量が少し足りませんでした。

攻撃でのマークを外す動きやスペースを作る動きをもっと出せると相手DFを困惑させて優位に立つことが出来ます。ボール保持者をしっかりサポートすることにより楽に攻撃出来るので意識して行って欲しいと思います。

攻守の切替をもっと早く。

失点で多かったのがカウンターでした。攻撃で前掛かりになったところでボールを奪われてしまい、その後の対応が遅れてしまう事が多かったです。

相手にボールを奪われた後にすぐに寄せて相手の攻撃を遅らせることができれば失点の可能性が低くなります。ボールロストと同時に一番近い人がすぐにDFに入る事を意識して下さい。

攻撃では逆に相手の守備が整う前にシュートでいければ得点の可能性が高くなります。相手の状況を見て早く攻撃するのか、ゆっくり攻撃するのか判断して下さい。

GKの上手なチームが多く、チャンスは沢山作っていましたが得点を奪えませんでした。ただシュートを打つだけでは得点出来ないのでキーパーとの駆け引きで逆を取ることを意識して欲しいと思います。

またフットサルでは1回のシュートで決まることは少ないのでこぼれ球を狙いにいくことが大切です。誰かがシュートを放った時にはこぼれ球に反応できる準備を心掛けて下さい。

出来事

試合に負けた後に選手達から強いチームと試合が出来て楽しかったという言葉がありました。強いチームを相手に力を出し切ってくれたからこそその言葉だと思い、とて

も嬉しかったです。アップも自主的に取り組んでくれていましたし、アップ中の声掛けもとても良かったです。技術的な部分だけではなく一人の人間として成長しているなぁと感じました。

手押し相撲・川俣場所で横綱と最下位の「つまようじ」が決定しました。みんなトレーニングして次の常葉場所に臨むとのことでしたので順位の変動があるのか、ご期待ください・・・サッカーのトレーニングを頑張りなさいよと思ってしまいました（笑）

コーチ：熊坂



